

手足口病流行警報について

感染症発生動向調査における相模原市内の手足口病患者報告数が、第26週（令和6年6月24日から30日まで）に、1定点医療機関当たり7.97人となり、「警報レベル」である5.00人を超えました。

本市において、手足口病の報告数が警報レベルを超えたのは、令和4年以来となります。

手足口病は、乳幼児を中心に、7月～8月頃に流行します。手洗いや咳エチケットなどの予防策の徹底をお願いいたします。

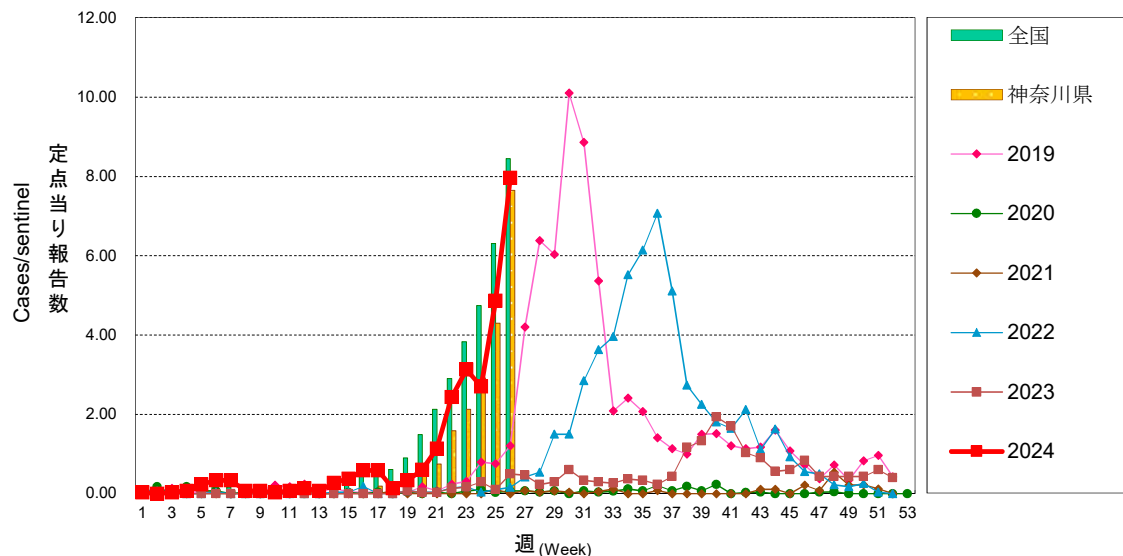
【最近5週間における1定点医療機関当たりの手足口病報告数】

期間	第22週 5/27 ～6/2	第23週 6/3 ～6/9	第24週 6/10 ～6/16	第25週 6/17 ～6/23	第26週 6/24 ～6/30
1 定点 当たりの 報告数(人)	2.43	3.13	2.70	4.87	7.97

【過去5年間の傾向】

手足口病

Hand, foot and mouth disease



【手足口病について】

手足口病は、コクサッキーウイルスやエンテロウイルスによって起こる感染症です。手足口病にかかると3～5日程度の潜伏期間の後、手のひら、足の裏や口の中などに水疱性の発疹が現れる他、軽い発熱を伴う場合もあります。

特に、乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園において感染が広がりやすいとされます。また、成人が発症した場合は、乳幼児と比べ症状が重く出る場合があります。

【注意点及び対処法】

通常は数日間のうちに自然に治りますが、まれに重症化することがあるため、高熱が出る、嘔吐する、水分が取れずに尿が出ない、ぐったりとしているなどの症状が見られた場合は、直ちに医療機関を受診してください。

【手足口病の感染予防について】

感染経路は、飛沫感染や接触感染、経口感染です。

手足口病に有効なワクチンはなく、特効薬もありません。接触感染を予防するために日ごろから流水と石けんによる手洗いを習慣づけるとともに、排泄物は適切に処理してください。アルコールによる消毒効果は弱いとされています。

症状改善後も2週間から4週間程度はウイルスが便から排泄されるといわれていることから、おむつ等排泄物の処理をした後は特に注意しましょう。

問い合わせ先

(感染症発生動向調査について)

健康福祉局保健衛生部疾病対策課

担当 吉田

電話 042-769-7201

(ウイルス検出状況について)

健康福祉局保健衛生部衛生研究所

担当 播磨

電話 042-769-8348